

ひがしゆり

HIGASHIYURI

 東由利町
2000 **9**
NO.546



浴衣美人がまつりの華です

(7/24 東光苑・永慶保育園合同夏まつり会場にて)



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

祝 ご成人おめでとうございます



大人の実感を胸に

平成十二年度成人式

八月十五日、有鄰館において本年度の成人式が行われました。当日は成人の節目を迎えた六十七人が出席。懐かしい仲間と再会して、近況の話に花を咲かせていました。

町長が「二十一世紀の中心的な立場となる皆さんに、今後頑張ってもらいたい」と式辞を述べたあと、来賓の町議会議長と町教育委員長からお祝いのことばが贈られました。

今年の対象者は八十人で、出席率は約八四％。本町では例年八〇～九〇％の高い出席率となっており、大勢の若者が帰省して出席してくれることは町の明るい光景です。

そのあとに新成人を代表し、畠山敏美さんと高沢美奈子さんが若い世代の意見を発表しました。

式では新成人が一人ずつ紹介され、代表して小松聖嗣さんが記念品を受け取りました。

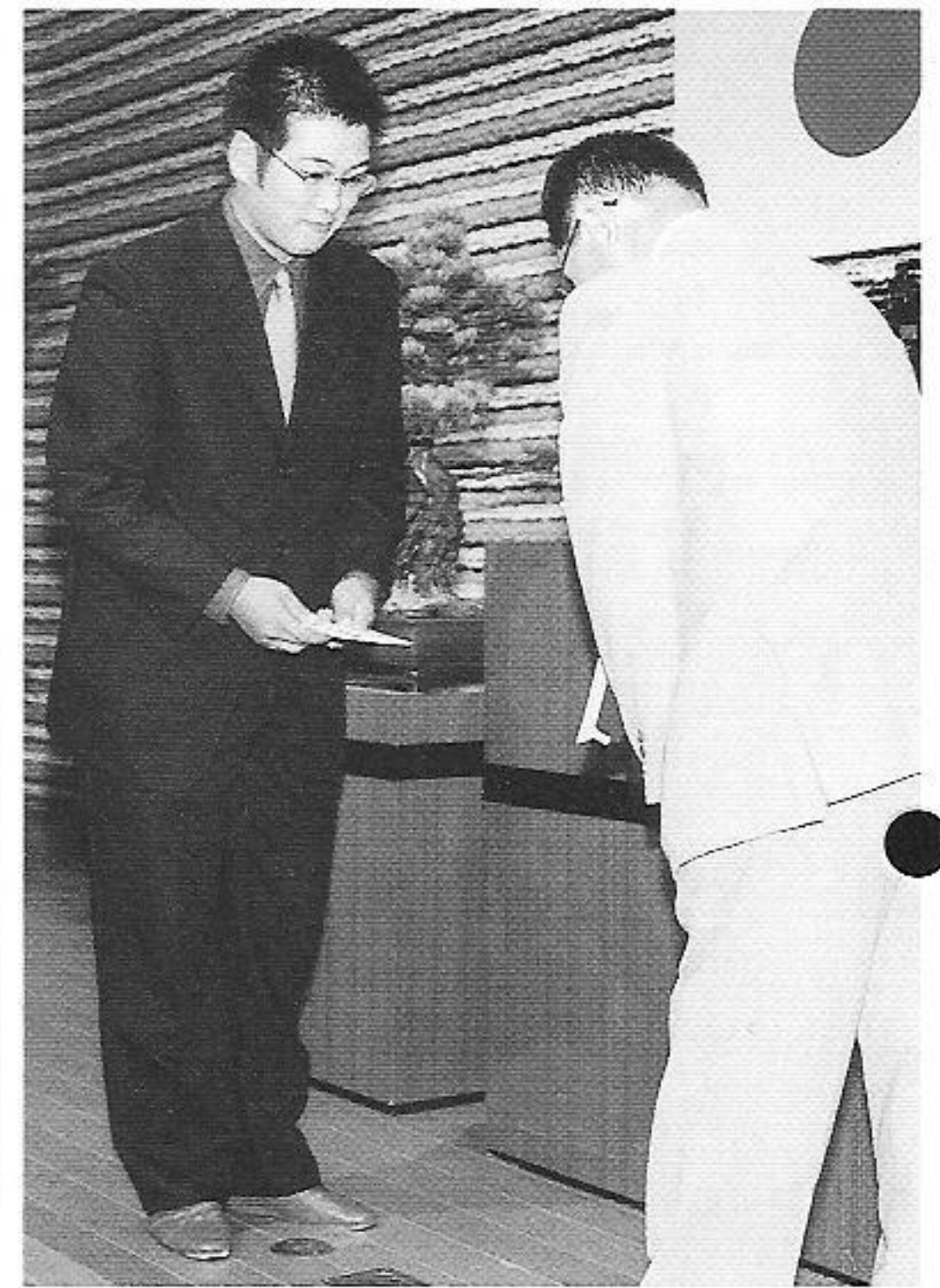
式終了後記念撮影が行われましたが、整列までの間には式の緊張も解け、昔の教室を思わせる元気な笑顔があちこちでこぼれていました。

新成人者名簿

(敬称略)

3	2	1
黒	須	大
淵	郷	吹
佐	高	太
藤	橋	田
成	紋	希
記	子	

12	11	10	9	8	7	6	5	4
田	下	泡	智		向	律	黒	
代	小	ノ	者	〃	〃	沢	淵	
小	佐	横	横	大	長	高	佐	
松	藤	山	山	越	谷	沢	藤	
佳	は	忠	敦	亜	京	美	冬	
央	る	治	夫	由	子	奈	樹	



▲記念品を受け取る小松聖嗣さん

会場の スナック



46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13
下上							新		須			館新		松板					久山五			館					宇		下		袖		
		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	郷	〃	〃	合	沢	〃		〃	〃	〃				海	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
通通							町		田			新		柴戸					保崎保			西					坂		路		山		
長谷山	阿部	佐藤	遠藤	小松	鈴木	佐野	金子	小松	小野	小松	小松	佐藤	島山	長谷山	佐藤	高橋	小松	小松	高橋	小松	下田	小松	小松	小松	飯山	佐藤	高橋	阿曾	島山	小松	小野	鈴木	鈴木
	和敦	鋼美	都健	真知	隼和	慶聖	美幸	幸治	穂涼	真之	和也	ゆかり	里理	美津子	敦史	寛子	陽介	紀代子															
	楓江	子大	鈴誠	一	子人	成彦	嗣幸	治	穂	涼	之	也	順	り	理	子	史	子	介	子	瞳	満											

80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47
		下			大	高			船						小	十	宮	蔵			岩		横					上	祝	湯	下		
〃	〃	宿	〃	〃			〃	〃		〃	〃	〃	〃	〃	倉	ノ	島	新	蔵	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	出		
		吹			琴	屋			木						倉	前	前	田			舘		渡					里	沢	野	通		
遠	佐	遠	畑	佐	小	佐	佐	大	大	大	遠	遠	遠	阿	遠	遠	小	畑	阿	阿	伊	阿	石	阿	高	小	小	小	小	佐	佐	佐	島
藤	藤	藤	山	木	野	木	藤	庭	庭	庭	藤	藤	藤	部	藤	藤	松	山	部	部	東	部	渡	部	橋	松	野	野	野	藤	藤	藤	山
	由	征	利	幸	広	福	敏	洋	真	明	め	法	達		由	伸	仁	敏	善	恵	功	千	真	正	ま	敬	克	真	孝	隆	友	敏	
瞳	佳	裕	享	子	樹	子	幸	介	紀	子	み	歩	道	彦	学	利	也	美	行	和	子	子	賀	理	枝	ゆ	志	好	美	子	史	子	美



7/22

東光苑・永慶保育園 合同夏まつり



今年も東光苑と永慶保育園の合同夏まつりが行われました。
当日は雨が心配されましたが頭上の空だけぽっかりと雨雲が途切れ、約四〇〇人がおとずれた中、東光苑入居者と永慶保育園児らによるオープニング「まんまの音頭」でまつりが始まりました。
今年のステージは園児の発表に続き、成田美恵子さんの歌謡ショーと東楨会のみなさんの踊りを、おなじ



みのカルロスさんの司会で楽しみました。また保育園児の保護者による余興ステージは、カルロスさんもびっくりするほどのすばらしいもので、場内のお客さんや入居者の皆さんから、笑いと感心の拍手が終始贈られていました。

10年 思い出

8/14

法内地区盆踊り



8/14

住吉地区 盆踊り



8/14

玉米地区 盆踊り





7/28

第9回 みどりまつり

(写真提供はみどり保育園)



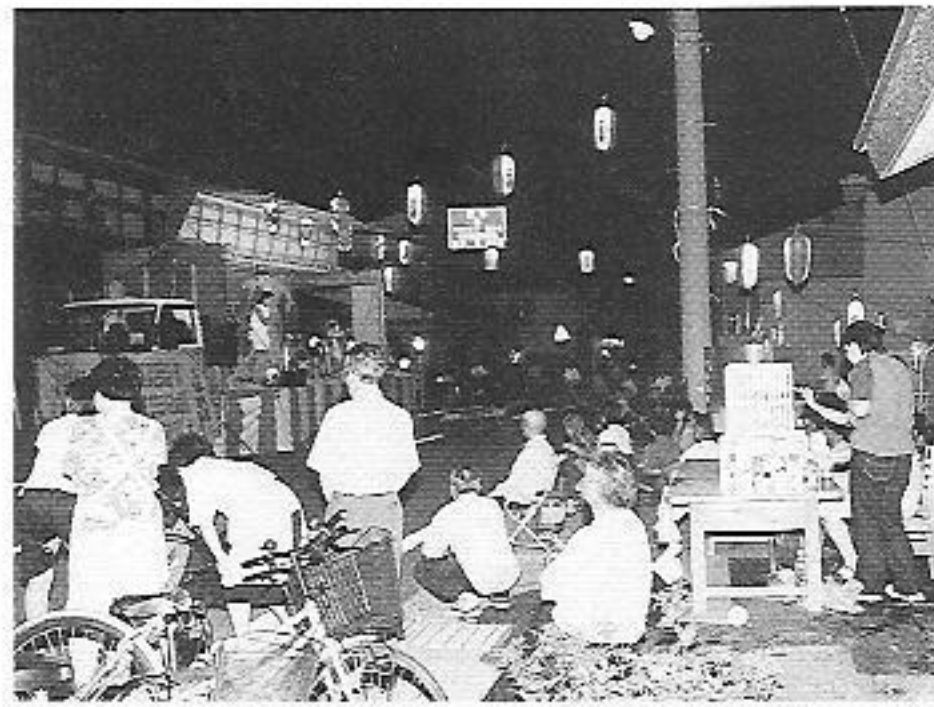
集まった約三〇〇人のお客さんと火を囲んでキャンプファイヤー。歌ったり踊ったりと、しばし楽しいひとときを過ごしました。

大琴自治会 8/14



お盆の夜は赤い提灯の列が印象的になります。メインストリートで行われる夏まつりはステージが大型トレーラー。毎年ちよつとずつ会場の位置が変わります。明るい時間帯は子供向けのビンゴ大会、夜はビール片手にカラオケ演芸会を楽しみました。

年長児と職員によるグループ発表のひとコマ。写真には写ってませんが、仮面ライダークウガが遊びに来てくれ、会場が興奮の渦につつまれました。



2000 夏の

8/6・14 大蔵地区

(写真提供は伊東一夫さん)



八月六日、蔵分館が実施した魚釣り教室は、みんなで釣り糸を垂らしたあとはお楽しみのかみ取り。夏の太陽が照りつける中、涼しいひとときを過ごしました。八月十四日は実行委員会が開催した夏まつり。浴衣を着た子供たちもたくさん集まり、金魚すくいや出店で楽しんでいる姿は夏の夜の風情を楽しませてくれました。また、もとA.L.Tのアレンさんも遊びに来ていて、子供たちと一緒に東由利の夏を楽しんでいました。



日ごろの訓練が現場で活躍します

平成12年度町消防訓練大会

七月二十三日、ときおり雲の切れ間から夏の日差しが照りつける中、げんき館駐車場で平成12年度町消防訓練大会が行われました。

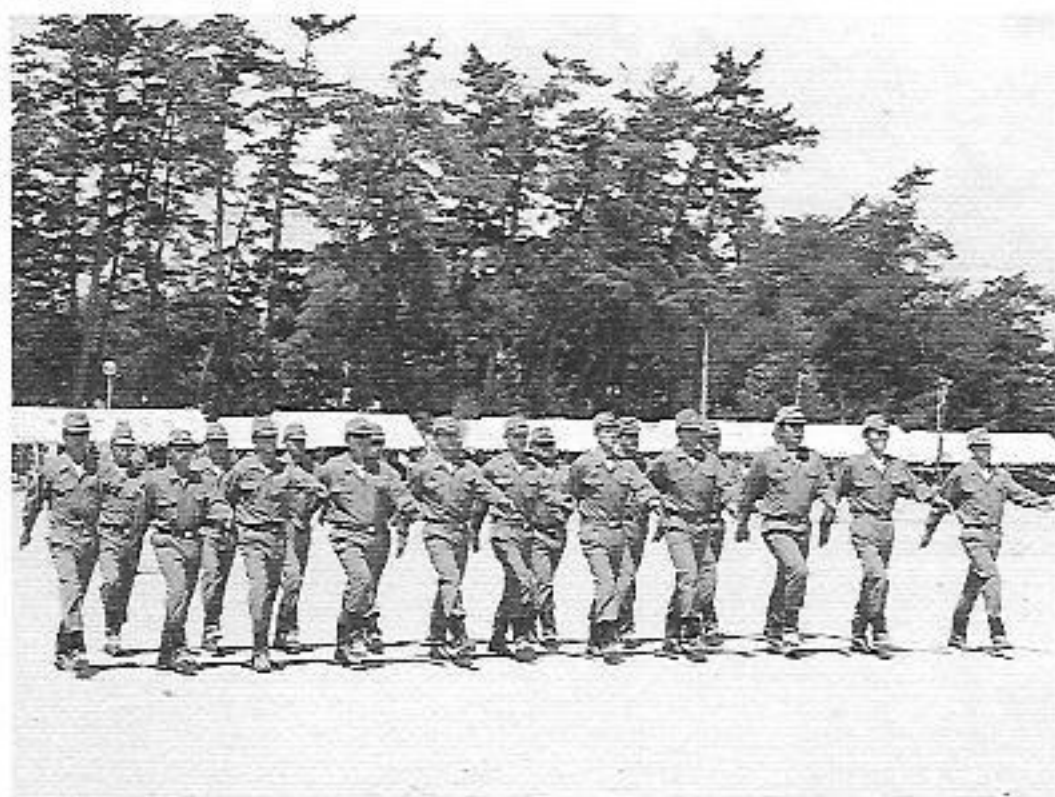


▲分列行進する団員

町消防訓練大会成績表

	規律訓練	ポンプ車操 操 法	小型ポンプ 操 法	総 合
第1位	1分団	1分団	5分団1班	1分団
第2位	3分団		5分団2班	3分団
第3位	4分団		5分団4班	5分団
第4位	2分団		1分団2班	4分団
第5位	5分団		3分団1班	2分団

例年消防技術の向上と防火意識の高揚を目的に行われるこの大会では、初期消火が重要となる現場でどれだけ迅速な行動がとれるかを審査するため、審査にあたった東由利分署員の目も鋭く、また大会の様子を見に集まった町民の目も真剣でした。競技は規律訓練、ポンプ車操法、小型ポンプ操法からなり、各団員とも日ごろの練習の成果を披露していました。大会結果は表のとおりです。



▲一糸乱れぬ規律訓練

秋田県消防協会本荘市由利郡支部 平成12年度消防訓練大会

秋田県消防協会本荘市由利郡支部の消防訓練大会が、八月五日、本荘市松涛公園グラウンドで開催されました。先の町の大会で、各部門の一位となった分団及び班が出場しました。三つの部門で行われた大会では、次のとおり各部門で上位成績を果たしました。団員の努力はも



▲標的に向かって迅速な消火作業

ちろんですが、地域や家庭の協力が好成绩につながりました。こうした大会を機に、町民一人一人の防火意識の高揚につながることを期待されます。

- 規律訓練
一分団 第二位
- ポンプ車操法
一分団一班 第六位
- 小型ポンプ操法
五分団一班 第三位
- 総 合
第一位 鳥海町
第二位 仁賀保地区消防団
第三位 東由利町

団体総合準優勝

惜しくも五年連続団体総合優勝ならず

第三回秋田しんせい農業協同組合畜産共進会



東由利町受賞名簿

部門別受賞者	部門別受賞	区 分	優 勝	準優勝	3 位	
		肉用牛の部	鳥 海 町	東由利町	大 内 町	
		乳用牛の部	東由利町	矢 島 町	西 目 町	
受賞者	団体総合成績	優 勝	準 優 勝	3 位		
		鳥 海 町	東由利町	矢 島 町		
		出 品 区 分	名 号	出 陳 者		
受賞者	区 分 別 最優秀賞	肉用牛若牛2区	ゆきひめ5	小 松 建 一		
		肉用牛 父系牛群区	さかえ	莊 野 ツエ子		
			のぶひめ	大 場 惣 七		
			さかえ	高 橋 時 郎		
特別賞受賞者	最優秀群 区特別賞	出 品 区 分	名 号	出 陳 者		
		肉用牛 父系牛群区	さかえ	莊 野 ツエ子		
			のぶひめ	大 場 惣 七		
			さかえ	高 橋 時 郎		
特別賞受賞者	最優秀個 人特別賞	出 品 区 分	名 号	出 陳 者		
		肉用牛若牛2区	ゆきひめ5	小 松 建 一		
		優 等 賞	品 種 区 分	名 号	出 陳 者	
			肉用牛若牛2区	ゆきひめ5	小 松 建 一	
肉用牛成牛2区	ふくひめ		小 野 長 一			
高等登録群区	ひめのはな		高 橋 新 一			
	たかひめ	高 橋 新 一				
	みゆき	高 橋 新 一				
優 等 賞	肉用牛 父系牛群区	さかえ	莊 野 ツエ子			
		のぶひめ	大 場 惣 七			
		さかえ	高 橋 時 郎			
	乳用牛ホルスタイン 未經産区	フイーンランド ビクトリアチーフ	大 庭 朋 和			
優 等 賞	乳用牛ジャージー 種未經産区	ウイローロマンス サンドラブロック	畑 山 裕 輝			

七月二十六日、広域由利家畜市場構内（本荘市）において、第三回秋田しんせい農業協同組合畜産共進会が行われました。平成十年度に大会名称が由利畜産共進会から今の名称に変わり今年で三度目になるこの大会、本町は去年まで四年連続の団体総合優勝を収めて来ました。

本町からは先の町畜産共進会で上位入賞した二十一頭（肉用牛十五頭、乳用牛六頭）が出陳されました。大会でもっとも権威がある個別牛部門、最優秀個人特別賞に小松建一さん（山崎）の「ゆきひめ5」号

が入賞したほか、最優秀群区特別賞、3つの区分別最優秀賞などたくさんの牛が優秀な成績に輝きました。主な入賞成績は別表のとおりです。

また今年は一年に一度の県大会が開催されないため、肉用牛の今年度大会出場は本大会が最後となります。

なお十一月には全日本ジャージー共進会が岡山県で開催されますが、全日本ジャージー連盟秋田県支部の選抜によりその大会に本町から畑山裕輝さん（島）の出場が決定されています。

議長に遠藤氏を選出

第六回議会臨時会



遠藤議長



小松副議長

改選後、初の臨時議会

が七月二十四日に開かれました。

最年長議員の畠山作四郎議員が臨時議長となり、議長選挙が行われた結果、遠藤忠平議員が第十五代町議会議長に選任されました。

引き続き議席の指定や副議長の選挙が行われ、小松義嗣議員が副議長に選任さ



▲議長選挙の開票風景

れました。

このあと各常任委員会・議会運営委員会・広報特別委員会を別表のとおり構成しました。

また本会議では、小松久徳議員を議員から選出する監査委員とする選任案が提出され、原案どおり同意されました。

東由利議会委員会委員名簿

委員会名	定数	委員
民生教育委員会 総務常任委員	7	◎佐藤 十内 ○鈴木 和夫 中西蔵之助 畑山 作喜 長沼 久利 佐々木長門 小松 義嗣
産業建設委員会 常任委員	6	◎小松 賢 ○工藤 実 畠山作四郎 阿部 剛 小野 健 小松 久徳
議会運営委員会 議委	6	◎佐々木長門 ○鈴木 和夫 工藤 実 小野 健 小松 賢 小松 義嗣
議会広報特別委員会	5	◎鈴木 和夫 ○小野 健 長沼 久利 工藤 実 小松 賢

◎委員長、○副委員長

農地復旧事業の施行を議決

第七回議会臨時会

第七回議会臨時会が八月八日に招集され、農地農業用施設災害復旧事業の施行を原案どおり可決しました。

■議案第一号 平成十二年発生農地農業用施設災害復旧事業の施行

平成十二年三月二十八日から三十日に発生した融雪災害による農地農業用施設災害復旧事業の施行を決めたもの。

▼災害箇所二カ所(畑・一、水路・一)

平和への思いを新たに

町戦没者追悼式

八月二十二日、有鄰館で戦没者追悼式が行われました。町の追悼式は日清戦争以後、町出身戦死病没者三百十二柱の御霊に祈りを捧げるため毎年行われ、今年で五十五年目を迎えます。



▲式辞で追悼の意を捧げる町長



▲戦没者の御霊を偲び参列者全員による献花

式には遺族など関係者約九十名が参列し、式典の終わりにには参列者全員が戦没者の御霊に献花を行いました。

二十世紀最後となった追悼式、平和の礎となった若者達と悲慘な戦争の記憶を、風化させずに二十一世紀に伝え、平和の大切さを考えていく機会となりました。

町長日記

暑いお盆

今年も暑いお盆でした。この夏は三十八度を記録した日もあ

り、全国一高い気温というテレビ報道に、県外に住む町出身者から心配の電話をいただいたこともありました。昨年は二十七日間もの雨の降らない連続真夏日がありました。今年は局地的にですが時おり雨が降りまし

介護保険の更新です

**認定を受けている方は
保険証をお確かめ下さい**

今年四月から介護保険サービスがスタートした介護保険。介護認定を申請すると、介護の必要なランク（要介護度）の認定とともに原則半年間の有効期限が設けられ、その内容が被保険者証に記されます。

有効期限がやつてきた方は更新認定申請の手続きが必要になります。

申請の手続きは、新規申請のときと同じです。早めにケアマネージャーに相談しましょう。

**10月から
保険料の納付が始まります**

**平成12年度は
10月、12月、2月の3回**

一回の納付額は、一人当たりの基準額二、六三〇円です。これが二ヶ月分相当の保険料です。本年度は半年分の保険料を、十月から三回、金額にして七、八九〇円を納めることとなります。

保険料は、所得に応じて五段階の金額になっており、所得の低い人は本年度納付額の合計が三、九四〇円、所得の高い人は本年度一、八三〇円となっています。

なお、保険料納付は、基本的に年金から差し引くことによって行われますが、年金額が定められた金額より低い人は、保険者となっている本荘由利広域市町村圏組合から納付書が直接送られ、役場や金融機関などの窓口で納めることになります。

問合せ 福祉課福祉係
(69-2118)

半額からスタート

介護保険のサービスが始まり半年になりました。平成十

た。六十五歳以上の方について、よいも、よい介護保険の保険料納付が始まります。平成十二年は十月から、一月当たり本来の保険料の半額を収めることとなります。残りは国が負担します。



たので、昨年に比べればよいと言う人もあります。本当に暑い夏でした。

お盆にはたくさんの方が里帰りし、町の人口も倍以上にもなったことですが、それぞれの地域ではその人たちも参加してお盆行事がしっかりと行われておりました。

恒例の行事を存続して行くことはたくさんの方の努力が必要です。どんな会でも、多くの裏方の活躍があつてはじめて成功し、大勢の参加者も満足出来ることとなります。裏方を努められました分館・自治会の役員の方には、暑い中での働きに心から敬意を表し感謝を申し上げます。お盆帰省された皆さんも久しぶりの故郷にきつと満足され、それぞれの地域や職場に戻り、再び頑張っておられる事でありましょう。

また、十五・十六日には第四十二回を数える町社会人野球大会がありました。今年も十四チームが参加しましたが、ちょうど夏の甲子園が盛んに行われている時期と重なる伝統の大会で、高校球児の熱戦と張り合う形で行われるのであります。主催者である野球協会の役員の方や審判員の皆さん、大変ご苦労様でした。

成人式は十五日に行い、今年六十七人の出席でありました。成人者お二人の意見発表は、職場体験を踏まえてのしっかりした発表であり、二十一世紀の主

役を努められるに十分期待できる人達でありました。

私からも、二十一世紀に於ける次のような課題を述べお祝いを申し上げます。まずは少子高齢化に代表される成熟社会をどう構築していくのかということ。国際化といわれ国境という壁が希薄になっていく中、日本という国をどう意識して行くかということ。そして、情報化の時代にどう取り組んで行くのかということでもあります。我々の世代では戸惑うことであり、一つ一つを取り組んでこれらを克服していつてほしいのであります。そのためにも心身を鍛え健康で仲間を大事にし、そして多くの子供達も育ててもらいたいとお願ひしたのであります。

二十二日には戦没者追悼式を行いました。戦後五十五年になり、ご遺族の高齢化も進み参加率も少なくなってきました。平和祈念式典の形にして、若い世代も参加できるものにしたかどうかと考えさせられたりもしました。

暑い暑いと言っていました。稲穂も色づいてきました。今年のカメムシ対策もすっかりしましたので、昨年の二の舞いは避けられるものと思っておりますが、全国的な豊作の予測で、米価が心配されるのであります。なかなか全部が満点ということは難しいことです。まずは酷暑の夏で消耗した体力を整えて、実りの秋に備えて参りましょう。

子どもに社会とのかかわりを

地域での公民館の役割

少子化が進む日本。総務庁の推計では一九九九年四月の年少人口は千八百八十八万人、また二〇二五年に千六百万人弱、二〇五〇年には千三百万人強となる見込みです。

年々減少を続ける児童に対し、教育課程審議会答申（一九九八年七月）では各学校が地域の実態に応じ「特色ある教育活動を展開できる時間を確保し、総合的な学習を設けること」としています。また凶悪犯罪の低年齢化にともない、学校以外でも家庭における親子の触れあいの重要性が指摘されるなど、子どもに対する地域の役割がますます問われる時代になったといえます。このような状況下、地域の一員として私たちができることはなんでしょうか。



▲猛暑の中、少年自然教室での八塩山登山

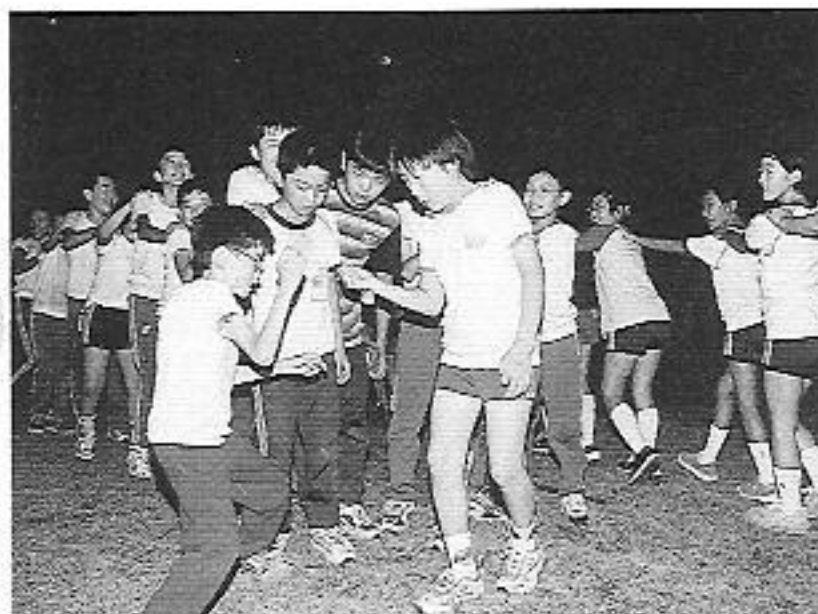
少年自然教室

(7/31～8/1)

今回の公民館だよりでは、七月末から八月に行った町公民館による子どもたちの行事を紹介しします。

小学校六年生を対象に、自然の中での交流を通じて友情と親睦を深めようと八塩いこいの森を中心に毎年行われている少年自然教室。当初の日程が雨で順延、実施が危ぶまれましたが、七月三十一日、八月一日の両日、無事行われました。特に初日は、本町が全国ニュースで紹介されるほどの猛暑でしたが、何事もなく終了しました。

テント立て、野外炊飯、キャンプファイアー、余興、八塩登山



▲キャンプファイアーでは皆が楽しんだ

わくわく&さわやかサークル

(8/19)

平成十四年度からの学校五日制完全実施にさきがけ、余暇活



▲わくわくサークルで料理教室

動の充実を図るべく毎月一回少年少女サークルが行われていますが、八月十九日にはわくわくサークルで「料理教室」、さわやかサークルで「カヌー教室」がそれぞれ行われました。

本荘アクアパルで行われたカヌー教室には六人が参加、頭で考える前に体でおぼえる競技だけに、皆真剣に取り組んでいました。参加者はカヌーをひとりであやつりながら体感する喜びを学んでいました。

スポーツ少年団交流大会

(8/20)

スポーツ少年団員間の交流を深めることを目的に毎年行われているスポーツ少年団交流大会。今年も八月二十日町民グラウンドを中心に百四十余名が参加、グラウンド・ゴルフを楽しみました。

チームワークが重要な競技だけに、学校、学年、男女の別を越え、皆が一丸となり、協力して競技に取り組んでいました。



▲スポーツ少年団交流大会でグランドゴルフ

夏休みの図書室利用

夏休み期間を通じて、図書室では百九十五冊の本が貸し出されました。特に目立ったのは小学生の利用でした。また、子供たちだけでなく親子連れの姿も目立ちました。これからむかえる本格的な読書の秋、ぜひ図書室をご利用ください。



▲小学生たちの利用が目立った図書室

公民館では、各行事、施設の充実などを図りながら、これからも余暇活動支援、子どもたちと地域の関わりにおける役割の一端を担っていきます。

ご意見などありましたら、お気軽に公民館にお寄せください。

全県コンに高瀬小推薦



▲全県花壇コンクールに推薦した高瀬小花壇
町花だんコンクールの結果は次の通りです。

なお優秀賞の高瀬小学校は平成12年度秋田県花だんコンクールに推薦しています。

【学校・保育園部門】

優秀賞▶高瀬小学校
優良賞▶大琴小学校
努力賞▶みどり保育園

【コミュニティ部門】

優良賞▶館合新田自治会
努力賞▶畑村自治会

親子で親しむ水とのふれあい



▲講師に指導をうける園児たち

8月7日、8日、10日の3日間、町民プールで水泳教室が行われました。7日、8日の両日は児童のみ、10日は小学3年生以下保育園児と親を対象にした教室、指導者に秋田アスレチッククラブの講師をむかえ、のべ74人が水に親しみました。

10日の親子水泳教室には15組の親子が参加、水泳を通じて親子同士のふれあいを深めていました。

町民プールは9月中旬まで開いています。

ことぶき大学生の畑作講習会



▲雨の中での熱心な作業

本年度、ことぶき大学ではシルバーパワー発揮支援事業が行われていますが、8月10日に同事業の一環として館合新田跡見坂会館そばの実証圃場で畑作現地講習会が行われました。

当日はあいにくの雨の中でしたが、由利地域農業改良普及センターの菊池英樹氏を講師に「なすの枝誘引」、「秋どりズッキーニの直まき栽培」を行いました。参加者の皆さんは真剣に作業に取り組んでいました。

8月

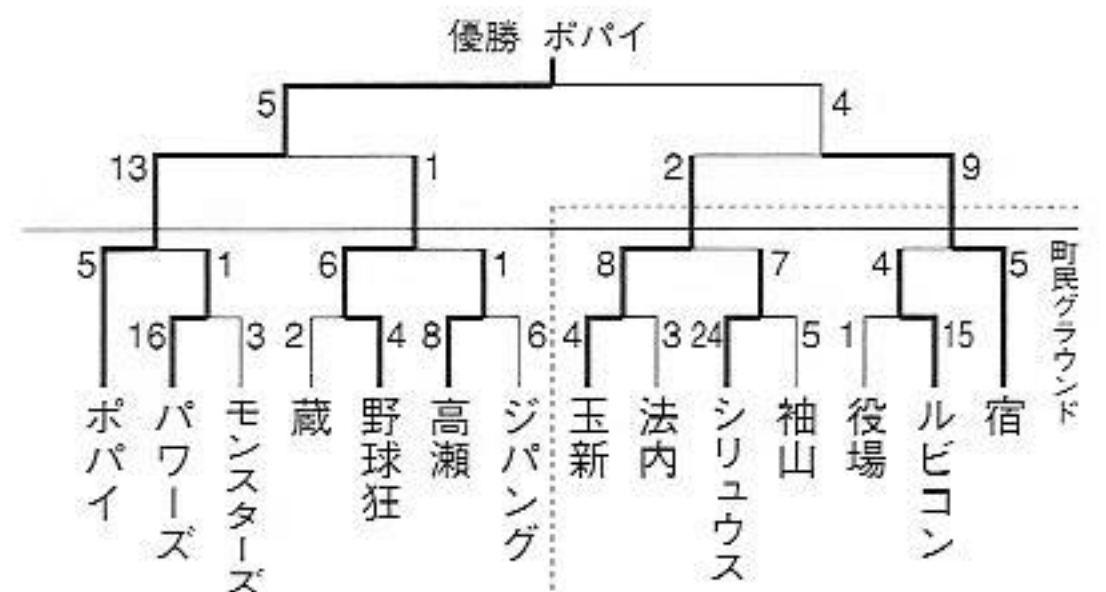
公民館行事ニュース

優勝はポパイスポーツクラブ

第42回社会人野球大会〈8/15~16〉



▲優勝したポパイ（左）と準優勝の宿（右）



「若者同士の交流不足を皆が集まったお盆に解消しよう」と、今年も第42回東由利町社会人野球大会が8月15日、16日の両日、勤労者野球場、町民グラウンドで行われ、14チームが猛暑の中で熱戦を繰り広げました。

決勝では昨年度と同じく、ポパイスポーツクラブと宿チームが対戦、5対4でポパイスポーツクラブが4年連続6度目の優勝を飾りました。

なお、個人賞は最優秀選手賞に新田直樹選手（ポパイ）、優秀選手賞に小松哲也選手（宿）に決まりました。

若者が一堂に介する機会が減る中、同野球大会の役割がますます重要になっているようです。

公民館トピックス

※お問い合わせは教育文化課生涯学習担当まで（69-2310）

本町で公開講座開催

子吉川流域公開講座

子吉川流域四町（由利、矢島、鳥海、東由利町）を会場とする「子吉川流域公開講座」が、まもなく開講します。

第一回は九月二十日（水）八塩いこいの森で「縄文の里で古代文化の心にあふれる」をテーマに、講演と全県野焼きを楽しむ集いの見学を行います。

詳しくは後日チラシを配付しますのでご覧下さい。

なお、当日は前述の各町から多数が参加する予定です。で、本町からも多数の参加をお願いします。

焼きものの原点を体験

全県野焼きを楽しむ集い

県内の陶芸愛好者が一堂に介し、焼きものの原点である「野焼き」を行い、古代のロマンにふれる機会をと毎年行われている「全県野焼きを楽しむつどい」。今年は九月二十日（水）八塩いこいの森を会場に行われます。

野焼き点火は十時三十分を予定しています。「制作は無理だが見学はしたい」という方はこの機会に雄大な自然の中で行われる野焼きにぜひおいでください。



▲水に入って大喜びの子供たち

魚つりで涼んだ夏のひととき

親子つり教室

八月十四日、有志実行委員会（遠藤吉喜会長）が主催し、老方郵便局が後援する「親子つり教室」が今年も湯楽里脇の水路で行われました。

当日は炎天下に、お盆に里帰りした親子など約五十人が参加し、水路の両側から釣り糸を垂らす額には汗が見られました。つかみ取りが始まると、子供たちは服が濡れるのもかまわず、夢中になって魚を追いかけていました。中には体ごと水に横たわり魚を捕まえようとする子どももあり、見ていた大人も思わず笑いがこぼれていました。



▲賞状を手に喜びの同好会員（中が杉野文子さん、右が遠藤寿々子さん）

民謡のひがしゆりをアピール

東由利町民謡同好会

七月二十日、本荘文化会館で第二十四回本荘市由利郡民謡同好会連合会対抗唄合戦が行われ、本町から出場した遠藤寿々子さんが「秋田長持唄」でグラブに輝き、東由利町民謡同好会が総合第二位の成績を収めました。

また八月六日、秋田市文化会館ホールで行われた第三十回秋田県民謡グループ対抗歌合戦では、杉野文子さんが「南部木挽唄」で個人第二位に入賞し、団体成績でも第二位となり、民謡で東由利町を全県にアピールしました。



▲役場に郵便物を届ける生徒

夏休みに職場体験学習

東由利中学校

八月二十一日、東由利中学校の二年生が夏休み職場体験学習を実施し、このうち郵便局を体験する生徒が、郵便物の配達で役場に訪れました。

体験学習は進路学習の一環として東由利中学校が毎年行っており、夏休み前の生徒の希望をもとにそれぞれの職場を選び体験するものです。

今年は郵便局や秋田ルビコン、美容院など九つの事業所が生徒を受け入れ、生徒達はそれぞれの職場を学びました。学校ではこの体験を通じ、自分の将来をしっかりと考えられる生徒になって欲しいと話しています。



アイドルをさがせ!

浅田 彩乃ちゃん（船木）
（1歳）

お父さん：和幸さん
お母さん：歩さん

お話し：歩さん

名前の由来は「お父さんが『彩』という字が好きだったからです」
家族でいちばん好きな人は「おばあちゃんが大好きです。仕事から帰るとすぐに抱っこをせがみます」
最近のエピソードは「暑くなつてから、ちよつとアセモが出てきたので海に連れて行きました。いつもはきかん坊なのに、興味深げに波打ち際から離れませんでした。ずっと気持ちよさそうに遊んでいて、帰りの時間になっても帰るのを嫌がつて困りました」
将来はどんな人に「今はきかん坊だけど、女の子らしく元気に育って欲しいです」

新成人が力強く恵比寿俵を奉納

鹿嶋神社祭典（館合）



▲元気よく奉納する俵を担ぐ若者達

八月十八日、今年成人式を迎えた若者達が館合の大物忌神社へ「恵比寿俵」を奉納しました。
館合共済団が主体となり毎年行われている鹿嶋神社祭典の夜宮で恒例の恵比寿俵奉納。昨年は新成人が仕事の都合などで集まらず、一年ぶりの奉納となりました。
二十世紀最後の奉納とあって、節目の年に成人を迎えたことを誇らしげに受け止め、炎天下家々を元気に歩き回っていました。

東由利の民話をラジオで語る



「ふるさとむかしむかし」でおなじみの石渡力造さんが、八月のNHKラジオ第一放送、夕方の番組「GOGO秋田」で、東由利町の民話を語りました。収録したのは「雲の上から落ちた雷の子つこ」「久保の地蔵淵のいたずらカップ」など四話。
また九月十二日、横手かまくら館で「第一回あきた民話の会」語りと研究の集いが行われます。石渡さんを含め会員の昔語りが予定されています。時間は午前九時半から、入場無料。

簿記で全国コンクール出場



七月二十七日、昭和女子大学（東京）で行われた第十六回全国高等学校簿記コンクールに、工藤寛之くん（新町・本荘高校商業科三年）が出場しました。
工藤君は六月二十四日に行われた県コンクールで準優勝し、三人のメンバーの一員として全国に臨みました。
今回の出場を良い経験として、自分の将来に役立てたいと話してくれました。

秋田県町村会職員採用試験のお知らせ

■試験区分 上級一般事務

■採用予定 一名

■受験資格

昭和四十六年四月二日から昭和五十四年四月一日までに生まれた者で、別に定める欠格事項に該当しない者。

■第一次試験

日時 平成十二年十月二十二日（日）
会場 秋田県市町村会館

■受付期間

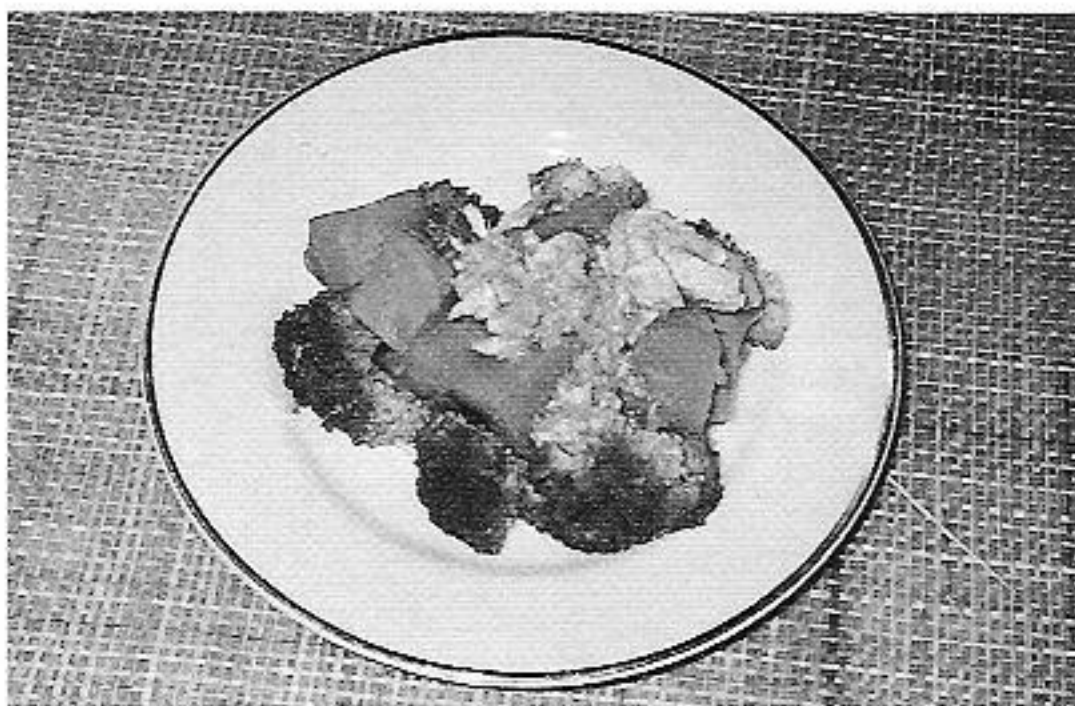
平成十二年九月六日（水）
～九月二十七日（水）

■申込用紙の請求及び問い合わせ先

〒〇一〇一〇九五
秋田市山王四丁目二番二号
秋田県市町村会館内
秋田県町村会 総務会計課
TEL 〇一八八六二一三八五

ヘルシークッキング Vol.4

よりよき生活習慣で病気を予防する



「カボチャとツナのカレーサラダ」（4人前）

《材料》（天……大さじ、小……小さじ）

かぼちゃ160g、サラダ油小5杯、酢小3杯半、カレー粉小1杯強、塩小半分、弱、ブロッコリー120g、マグロフレーク60g

《作り方》

かぼちゃは皮をところどころむいて、2センチ位のコロコロに切り蒸しておく。ブロッコリーは食べやすい大きさに切り、塩ゆでしておく。器にかぼちゃとブロッコリーを入れ、上にまぐろフレークをのせ、カレードレッシングをかける。

《アドバイス》

夏バテ防止には緑黄色野菜（かぼちゃ、ブロッコリーなど）が欠かせません。カレー粉の黄色のもと、ターメリックは、発ガンをおさえるはたらきがあります。香辛料で上手に食欲を誘い、暑い夏も元気に過ごしましょう。

（小松保健婦）

象潟町から

第8回 三崎山国盗り合戦

10月1日(日) 三崎公園 9:30~15:30
象潟町と遊佐町の代表50人が県境を境に「国盗り綱引き」
象潟町商工観光課 ☎43-7504

西目町から

道の駅にしめ「はまなすの里」 オープン5周年記念イベント

9月18日(月) 道の駅にしめ「はまなすの里」
12:00~14:00
・岩本公水ミニコンサート
・岡本フキ子御一行民謡ショー
道の駅にしめ「はまなすの里」☎33-4260

町制施行25周年記念 西目町親子ミュージカル「白雪姫」

9月23日(土) 西目町民センター「シーガル」
1回目 10:30 2回目 14:00
前売り 高校生以上 2,000円
中学生以下 1,000円
親子券 2,500円
(当日券は500円増)
西目町民センター「シーガル」☎33-2315

大内町から

第4回秋田馬子唄全国大会

9月9日(土) 大内町農村環境改善センター 9:00~
入場料 500円
大内町公民館 ☎65-2210

金浦町から

白瀬フェア2000

9月16日(土) 白瀬南極記念館前南極広場
13:00~21:00
①海賊焼き ②フリーマーケット
③ル・クプル&あんべ光俊さわやかライブ
④南極との電話交信 ⑤花火
白瀬南極探検隊記念館 ☎38-3765

雄物川町から

出会いふれあいの旅

10月13日(金)~15日(日)
◆バスで県南を中心に観光しながらのお見合いツアー
◆対象:30歳~40歳ぐらいの独身女性
◇男性は雄物川町の30歳以上の独身者
◆参加無料、申込締切は9月8日(金)
雄物川町結婚相談担当 ☎0182-22-2111(内線290)

おとなり情報

~本荘由利の催物などを紹介します~

本荘市から

第19回本荘由利地区医学講座

9月9日(土) 本荘文化会館 14:00~16:30
公開シンポジウム
「高齢化社会を生きるⅣ~走り出した介護保険~」
本荘市健康管理課 ☎22-1834

第48回 子吉川はぜ釣り大会

9月23日(土) 子吉川J R鉄橋付近~河口 6:30
本荘市商工観光課 ☎24-3321(内線352)

パソコン・ワープロソフト講習会

①9月19日(火)~21日(木) ワード基礎編
②9月26日(火)~28日(木) ワード応用編
本荘由利地域職業訓練センター 9:30~16:00
受講料①4,500円、②5,000円 定員17名
本荘由利地域職業訓練センター ☎23-5502

仁賀保町から

須川展也サクソフォン・ソングス

9月7日(木) 仁賀保町勤労青少年ホーム 18:30
入場料:一般1,500円、高校生以下1,000円
仁賀保町勤労青少年ホーム ☎35-4711

由利町から

由利高原コスモスまつり

9月17日(日) 南由利原高原青少年旅行村
9:30~15:00
・2haのコスモス ・由利牛バーベキュー
・豪華賞品が当たるゲーム ・野外コンサート など
由利町企画商工課 ☎53-2115

国から

陸上自衛隊秋田駐屯地創立48周年記念行事 「自衛隊フェア」

9月17日(日) 陸上自衛隊秋田駐屯地
9:00~14:00 試乗コーナー(指揮通信車、戦車、
ジープ、高機動車、装甲車等)
10:10~10:55 記念式典、観閲行進、観閲飛行
11:05~11:40 訓練展示(コンバットショー)
空挺降下(秋田県出身隊員5名)
その他軽食コーナー、ふれあいコンサート、野外交渉等
陸上自衛隊秋田駐屯地広報室 ☎018-845-0125(内線207)

高齢化社会で迎えた二十歳



荏沢 高沢美奈子さん (20)

私たちが住んでいる東由利町は少しずつ変わりつつあり、よその町の人々の出入りも多くなってきました。特に、この東由利町から離れて生活をしている方であれば、そうした町の変化に気付くことが多いのではないのでしょうか。

この変わりつつある町の中で、私たちは西暦二〇〇〇年の記念すべき年に、成人を迎えることが出来ました。

成人といっても、なかなか実感がわかないのが本音です。しかし、実感がわかないながらも、成人を迎えたことは事実なので、このことを白覚しながら、これからは自分自身の生活、また言動など、全てにおいて責任を持たなければならぬと思っています。そして、自分自身のことだけでなく、二十一世紀に向かって成長しつつある我が町についても考

えていきたいと思っています。

さて、現代社会は高齢化が急速に進んでいます。中でも東由利町は全国的に見てハイレベルの高齢化率で、町に出てみるとたくさんのお年寄りとお会いするのが日常的な光景となっています。

このような高齢者の多い町で、私は今年四月から特別養護老人ホーム「東光苑」に勤めています。身体の不自由なお年寄りたちと接する仕事なので、毎日が難しいことや考えさせられることはいっぱいあります。

特に、今年の夏のように気温の高い日が続くときは、介護する私たちも大変ですが、身体を自由に動かせない入居者にとってはもっと辛いことで、どうしようもない状況に心を痛めることもあります。

高齢者と聞くと、皆さんの中には目をそむける人がいるかも知れません。しかし、私たちは小さいころ、祖父母にかわいがられ、面

倒を見てもらったり、お小遣いをもらったりしました。また、私たちの豊かな生活を築いてくれたのも、お年寄りの方たちが汗水を流して働いてくれたお陰だと思っています。

ですから、私は今の仕事を通じ高齢者の方々に敬意と感謝、そして思いやりの心を持ち、決して目をそむけることなく、人生の先輩という感覚で接したいと思っています。

来るべき二十一世紀は、高齢化社会が更に進むと言われています。私は、成人を期に、今後、二十一世紀の高齢化社会がどうあるべきかを、仕事を通して考えていきたいと思っています。皆さんも高齢化社会で迎えた成人式を期に、一緒に考えてみませんか。

最後に、本日は皆さんの友人と共に成人を祝うことができ、とてもうれしく思います。成人式を開催して下さった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

二十世紀最後の成人式を迎えて



下通 島山敏美さん (20)

西暦二〇〇〇年八月十五日、二十世紀最後の成人式を迎えることになり、この日をたくさんの方々と祝うことができ、とてもうれしく思っています。

私たちの住んでいる東由利町もここ何年かで随分変化し、最近では八塩ダムにオートキャンプ場が完成しました。また近隣市町への交通の便もかなり改善し、他の市町村の方々と交流も増えてきています。

このように町が活性化・発展する中で私たちは成人を迎えたわけですが、本当に成人すると言うのはどのようなことでしょうか。私自身も本当に成人したのか？と言うのが本音です。

未成年と成人との差というものの一つに、お酒のことがあげられると思います。二十歳になればお酒を飲むことができるようになります。しかし、飲酒運転や酒気帯び運転等、交通違反

をしてはいけないし、体の面、たとえば生活習慣病等にも気をつけなければならぬと思います。

また、未成年と成人との差に、選挙権があると思います。二十歳になれば選挙権を持つことになり、私は先の衆議院議員選挙から選挙権を持つことになりました。衆議院議員選挙のときは仕事の都合で不在者投票し、町議会議員選挙のときは投票所に行きま

した。私たちの考えていることが十分ではないにしろ、政治に反映されるのです。私たちは成人には責任があるのだと思います。さらに付け加えると、私たちの意見に世間は期待しているのです。

ですから、私はまず始めに我が東由利町を大切にしたいと思っています。今までは、他の市町村の方に「東由利ってどのようなところ？」と聞かれたとき、私は「東由利は山がそばっかりでなにもない町」と答えてしまっていたのですが、これからは、町内の行事やその他催し物には進んで参加し、見る視点を百八

十度変え、東由利のすばらしいところをたくさん吸収し、すぐに答えられるようになっていきたいと思います。

この先、二十一世紀、私たちや東由利町はどのように変化していくのでしょうか。その方向を決めるのも私たち次第だと思います。私たちが東由利からいなくなってしまうと、隣の本庄市等との市町村合併することになり「東由利町」という文字はなくなってしまうでしょう。逆に私たちが東由利で頑張っていると、町は活性化・発展していくでしょう。

よって私たちは、色々なことに興味を持ち、私たちが東由利の発展のために意見を出していかなければならないと思います。そして私も本庄市につとめているので、本庄のよいところをより多く吸収し、私たちが東由利の活性化・発展のため、意見を出していこうと思っています。

これから二十一世紀に向けて、このことをいつも考え、一日一日を大切に、一步一步歩いていこうと思っています。

続・畜魂

～つれづれの記

第15話「トンビのピーコ」

鈴木龍太郎・文

電柱の雪の碍子^{がいし}に母子^{とび}鳶

これは「蕉青」の俳号で世間に知られている高橋民治郎氏（舟打場）が、句集「虫簞」に収録しているなかの一句である。その鳶を私が知ってから七年くらいになる。

平成のはじめ高橋さんは、家の前にある電柱に、ときどき翼の一部が傷ついた鳶がとまっているのに気が付き、試みに餌を与えたら次第に慣れて、朝昼夕と来るようになった。

ピーコと名付けられた鳶は、肉が大好物であった。また、油揚げも好物で、ことわざで言う「鳶に油揚げ」は本当のようであった。

電柱のてっぺんにいるピーコに声をかけ、ヒラヒラ振って見せた餌を地面に投げる。ピーコは一直線に急降下、鋭い爪で餌をつかみ取って舞い上がると、それまでの猛々しさは消えて、和らいだ声で「ヒヨロ、ヒヨロ」と鳴くが、高橋さんには「ありがとう」と聞こえる。

つかんだ餌を食べるため地上に降りるものの、常に人間や他の動物と一定の距離を置くのは、やはり野生の性だろう。

巢は、川向こうの山にあるらしく、子育ての春には、餌をそちらの方へ運んで行く。

そのようにして数年過ぎたあるときから、ピーコは一羽の子供を連れてきて、餌の捕り方を教えだした。その教育は実に厳格だった。

子鳶は地面にある餌に向かい、下手な急降下する。しかしつかみ損ねることもあり、ときには固い地面を引っ掻いて爪を痛める。

その様子を見ている母親は、一回くらは反復練習させ、それ以上失敗すると、自分が飛び降りて餌をつかみ持つてゆき、子供にはやらずに自分だけで食べてしまう。

ピーコは子供に、自分で獲物を探し、失敗せずに捕獲して食べなければ、生きてゆけない野生の厳しさを教えていたのだろうか。

母鳶は、次第に姿を見せなくなり、今では急降下も餌つかみも一人前になった子鳶が、二代目ピーコとして猛禽類特有の毅然とした姿で電柱にとまっている。しかし「母さんトンビはなんとしてる？」と聞いても答えてはくれない。

ふつつりと鳶のまみえず雪明かり

（蕉青）

そうして、一代目と同じであったが、家から離れた丑ヶ台で、草刈りや畑仕事をしている高橋さんの上空には、いつ、どこから現れるのか、二代目ピーコが輪を描いている。

二代目も、そろそろ子供を連れてくるのではなからうか。

又「トンビは、一日に一回どこかで集会があるらしく、その時間になると、どこにもトンビは見えない」というおもしろい話を聞いたことがある。

鳶とは関係ないが、高橋さんの家で生まれた子牛は、みんな牡は「ボンチ」、牝は「チヨボ」の愛称で呼ばれる。私は、その理由を知りたいと思いつつ、ついぞ尋ねずに現在に至っている。

蕉青氏が、ほのぼのとした愛情で、牛を呼んだ句も、数多く拝見するが、近詠のなかから一句拝借する。

老鳶や牛は梳かれて目を細め

季節を詠む

（せせらぎ句会）

畦刈ってピーマン色を濃くしたり

上里 小野 石路子

草鞋ばきの黒子いざなふ夏芝居

横小路 小松 丈介

蝉の声羽黒参りの笠の上

時雨山 吉川 葉子

茶髪女のあらき言の葉夏氷

秋田市 嵯峨 義之

音もなく父の遺影や夏座敷

時雨山 小松 敏雄

炎天に着莫産の農婦草むしる

蔵新田 小笠原 亮子

売り物にならぬ反骨曲り瓜

久保 高橋 典三

涼しさや熊の水呑み場と云う泉

舟木 大庭 喜右衛門

ひよつとこ面しゃしゃり出たり盆踊

蔵 阿部 澄子

減反に農魂こめしそばの花

蔵新田 小野 貞子

手を通す常の厩着明け易し

舟打場 高橋 民治郎

土用太郎がき大将も来たりけり

横小路 宮野 源二郎

雲霧の切れ間濡れ身の夏薊

家ノ下 小松 正昭

耳遠き夫婦の会話青すだれ

下小路 小松 メサ

やじる兵工ぼんとついで昼寝覚

横渡 高橋 ヒデ子

鉢巻も似合う祭の小若たち

蔵新田 小笠原 トミ

鮎の川釣りに急かれて茶漬飯

中通 小松 順之助

父も子も同じ職なり夕涼み

五海保 嶽 石レイ

夕虹に老の背ほそし白桔梗

山崎 小松 良子

風鈴に語りかけいし齡となる

小倉 遠藤 トミ子

森の巨人 たち百選

本年四月、林野庁が、全国の国

有林奥山の自然環境で長い年月を
経て順応し続けている巨樹・巨木
のなかから、代表する百本を選び
ました。直径一メートル以上の天
然ものという基準で、全国で二五
二本が数えられました。

本県からはスギ五本、ブナ二本、
クリ一本が選ばれ、そのなかに
「法内の八本杉」が入っています
(町報七月号既報)。樹周が一一・
五メートル、樹高が四〇メートル
あり、太さは、県内で選ばれたス
ギでは三番目にランクされます。

樹齢は五百年以上で、地上三メー
ルのところから六本になっていて、
生態的に貴重なものと言われてい
ます。

また、八本杉の周囲〇・五ヘク
タールは植物群落保護林に指定さ
れており、地域の自然を代表する
ものとして、学術研究等に資する
ための森林になっています。

「法内の八本杉」の森は全国に
誇れるものであり、わが町の林業
のシンボルでもあります。みんな
で八本杉の森を大切に、次の世
代への財産として残そうではあり
ませんか。

(町林業懇話会会長
佐藤恒悦氏)

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去勢	22	300kg	431,693円	1,373円
雌	17	275kg	320,126円	1,103円
全体	39	289kg	383,062円	1,270円

最高価格

	金額	父	母の父	母の祖父
去勢	644,700円	北国7の8	菊谷	恒徳
雌	475,650円	北国7の8	美津福	糸光

八月家畜市場

木材共販市況

(平成十二年八月・平均価格)
四五年生、五五年生

径級	単価(石)	備考
直材30cm以上	8,000~8,800	36cm上(A玉) 80年生
24~28cm	4,400~4,600 4,800~5,300	(込) (A玉)
14~22cm	4,300~4,400	
13cm以下		
曲り材		

14~22cmは枚数も2~5枚と集め、完売。価格も若干の上昇。
他は当用買いに終始し、材質に応じた取引。

ふるさと むかじむかじ

三九

蛇ばみ坂のやくそく

むかしむかし、長作さんという
百姓がいました。仕事の合間に陽
気なはやし唄などをつくり、むら
のみんなを笑わせている風流な人
でした。

そんな長作さんですが、日ごろ
は顔には見せないものの、大きな
心配事がありました。奥さんがこ
こ二、三年、わけのわからない病
にとりつかれていて、妙薬
や神だのみも一向に利かず、すっ
かりしよけていたのです。

田んぼを耕すかたわらに裏の奥
山で炭焼きをしていても、いつも
の冗談や笑いも出ません。山に行
っては仕事も手につかないまま、
いつも木の根もとでキセルたばこ
を口にしていました。

そんな気のうかないある日、炭
焼き小屋から炭俵を背負ったの帰
り道のことで、長作さんは、道
の途中、山すその家々の見渡せる
坂道で、腰のキセルを片手に一服
していました。ながめの良いところ
なのに、長作さんは病気の奥さ
んのことを思うと、ついふさぎ込
んでしまいます。

山仕事でくたびれたせいか、う
とうとうと居眠りをしていて、い
つの間にか目の前に、かわいい女
の子と男の子が立っていました。

どうやら姉弟のようです。

長作さんは、「はて？不思議な
こと。こんな山奥にメンコい子ど
もが二人連れであそびに来るわけ
もなし」と思いながら、「見なれ
ないお前さん方、いったいどこか
ら来たんだ？」と尋ねました。女
の子は「私たち姉弟の親は、ここ
の山奥に古くから棲んでいるうわ
ばみ(大蛇)なのですが、長作さ
んの吸うたばこのヤニの臭いに耐
えられず、すっかり弱りきってい
ます。どうかたばこをやめてもら
えないでしょうか。もし約束して
くれたのなら、奥さんの病を取り
はらってあげましょう」と答える
のでした。女の子が話し終わると、
男の子も一緒にペコリと頭を下げ
ます。長作さんが何か答えようと
していると、いつの間にか二人は

目の前から消えていました。

昔から、山奥にはうわばみがい
るといので、山に炭焼きに来る
ときには、用心のために蛇の嫌い
なたばこを腰にしていました。一
人になった長作さんは、「はて、
今のは夢かな？」と首をひねりま
す。そのとき、草藪の中に小さな
蛇が二匹、ニョロニョロと入って
いくのを見つけました。これを見
た長作さん、やっぱり夢でなく本
当だったのだと考え、その日からた
ばこをブツブツとやめたのでした。
こうしたことがあってから、紙
をはぐように奥さんの病も治り、
長作さんも心配事がなくなり、も
との明るい笑顔に戻りました。今
でもこの山道は、「蛇ばみ坂」と
呼ばれています。

(文と絵 石渡力造氏)



9月▶データ東由利

〈7/1~31〉

() は前月比

住民基本台帳

	月末人口	前月比
男 (人)	2,469	- 6
女 (人)	2,633	- 3
計 (人)	5,102	- 9
世帯数 (戸)	1,385	- 3

	月間異動人数	1月からの累計
出生 (人)	3	31
死亡 (人)	6	84
転入 (人)	1	62
転出 (人)	7	117

消防・交通

	月 間 発生数	1月からの 累 計
火災出動 (件)	0	3
救急出動 (件)	21	100
交通事故 (件)	0	3
死亡 (人)	0	0
傷者 (人)	0	3
飲酒運転 (件)	0	0
酒気帯び (件)	3	6

9月の行事予定

- 1(金) 乳がん・子宮がん検診
- 2(土) 町連合PTA研究集会
- 5(火) 予防接種 (個別・麻疹)
ことぶき大学研修
- 6(水) 食生活改善教室
- 7(木) 機能訓練教室
- 11(月) 議会定例会初日
- 12(火) 予防接種 (個別・三混)
ことぶき大学研修
- 13(水) 合同金婚式
- 15(金) 敬老の日
- 19(火) 乳児健診
- 20(水) 全県野焼きを楽しむ集い
郡市へき地交流会 (高瀬小学校)
- 23(土) 秋分の日
- 25(月) 献血
- 25~10/8 町長海外研修 (訪欧)
- 27(水) 2歳児健診
- 28(木) 機能訓練教室

東由利

郷土の野草

NO.187

ウラシマソウ
(サトイモ科)

文・写真 小松忠正氏



北海道、本州、四国地方の沿岸や山林の縁、竹林などに生える多年草で、本町でも見られます。一枚の大きな葉と花茎をのぼし、花は仏炎苞(肉穂花序をつつむ大形の総苞、サトイモの苞など)の中から肉穂の先が紫黒色の長い糸のように出ているのが、おとぎ話の浦島太郎の釣り糸のように見えるというのでこの和名になりました。

草丈は五十センチくらい、葉は鳥足状に裂け、暗紫色の仏炎苞は長さ二十センチくらいで、糸状の肉穂は一メートルくらいです。

戸籍の窓口

(7月21日~8月20日届出)

●お誕生おめでとう

7/19 小野 結那ちゃん(美勝) 館合新田

8/1 小坂 仁くん(愛政) 野田

8/11 遠藤 千里くん(春花) 新町

●ご結婚おめでとう

8/1 阿部 誠普さん(雄物川町) 葎沢

●ごめい福をお祈りいたします

7/29 遠藤 與市さん(74) チャ・夫・宿

8/15 伊藤 尚男さん(70) 田中美智子・父・宇戸坂

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

お礼

広報送付謝礼として次の方より金一封をいただきました。ありがとうございます。

牛島フサさん(所沢市)、中村 梯三さん(日立市)、海老原昭子さん(横浜市)、荒井ミサ子さん(大宮市)、鎌田侃さん(板橋区)

ほつとひといき

◆日中の日差しはまだ強いものの、朝夕の風や虫の声に秋の気配が感じられます。ニュースでは今年の米の状況はやや良。実りの秋が近づき、豊作の期待が感じられるとなんとなくワクワクします。秋まつりの会場に並びっばな収穫物、それを眺めるお客さんのほころんだ笑顔が浮かんできます。

フィルムひとこま

コシアキトンボ



航空防除の後、広場に落ちたトンボです。この辺ではあまり見かけない種で、誰も名前を知りませんでした。早速インターネットで調べてみたら「コシアキトンボ」という名前でした。生き物の命に良い悪いはありませんが、せめて害虫だけを退治する薬があればいいですね。(広報担当)